

【モニタリング】

アオイ・ファンディング・コーポレーション

格付投資情報センター(R&I)は下記の格付を公表しました。

1. 格付の理由

格付対象は、アオイ・ファンディング・コーポレーションの購入債権のプログラムに対する信用格付である。今般、関連契約を再度締結しSPCをアオイ・ファンディング・コーポレーション合同会社に変更した。再度締結した関連契約を確認し格付対象の格付を維持した。

2. 信用格付

<格付アクション>

符号の維持

No	発行体/委託者	名称	格付
1	アオイ・ファンディング ・コーポレーション	アオイ購入債権 (大昭和紙工産業手形債権) プログラム	短期格付 a-2 → a-2
2	アオイ・ファンディング ・コーポレーション	アオイ購入債権 (シロキHD手形・電子記録債権) プログラム	短期格付 a-2 → a-2
3	アオイ・ファンディング ・コーポレーション	アオイ購入債権 (X社手形・電子記録債権) プログラム	短期格付 a-1 → a-1
4	アオイ・ファンディング ・コーポレーション	アオイ購入債権 (Y社売掛債権) プログラム	短期格付 a-2 → a-2

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

No. 1

1. 格付対象		
発行体	アオイ・ファンディング・コーポレーション	
名称	アオイ購入債権（大昭和紙工産業手形債権）プログラム	
裏付資産	手形債権	
発行金額 （通貨）	2,000,000,000円 （日本円）	
劣後比率	—	
発行日	—	
予定償還日	—	
最終償還日	—	
償還方法	—	
クーポンタイプ	—	
利率	—	
2. 格付方法		
2020年4月	第1章 総論	
2020年4月	第2章 各論 仕組みに関するリスク	
2020年4月	第3章 各論 裏付資産に関するリスク 第7節 手形債権	
2020年4月	第4章 各論 キャッシュフローリスク 第1節 金銭債権等に関する分析方法（大数アプローチ） 第2節 金銭債権等に関する分析方法（少数アプローチ）	
2020年4月	第5章 各論 モニタリング 第8節 プログラムに対する信用格付のモニタリング	
—	—	
上記の格付方法は以下のホームページに公開しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html		
3. 「格付提供方針等」3. に掲げる開示事項及び金融商品取引業等に関する内閣府令第306条第1項第9号に基づく開示事項		
各事項の説明は、本リリースの最終ページをご覧ください。		
(1)	商号又は名称	株式会社格付投資情報センター
	登録番号	金融庁長官（格付）第6号
	直近一年以内に講じられた監督上の措置	なし
(2)	2021年 6月28日	
(3)	主任格付アナリスト	木須 智彦
	信用格付の付与について代表して責任を有する者	住田 直伸
(4)	1)	「格付付与方針」及び「格付符号と定義」をご覧ください。 （格付付与方針） https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html （格付符号と定義） https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html
	2)	「2. 格付方法」をご覧ください。
	信用格付の対象となる事項の概要 （ただし、重要なものに限る。）	「1. 格付対象」をご覧ください。
(5)	組成に関する事務の受託者	（株）静岡銀行
	原資産の主たる保有者	大昭和紙工産業（株）
	発行者又は債務者	該当なし

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

No. 1

	損失の危険を移転する契約の締結者（第三者）	該当なし	
	特別目的法人	該当なし	
	特定融資枠契約の締結者	該当なし	
(6)	該当なし		
(7)	該当なし		
(8)	該当なし		
(9)	<p>R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。</p> <p>R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。</p>		
(10)	1)	2)	3)
	案件関連契約書	信用格付業者への表明保証等	組成に関する事務の受託者
	裏付資産に関するデータ・資料	信用格付業者への表明保証等	原資産の主たる保有者
	パフォーマンスに関するデータ	信用格付業者への表明保証等	原資産の主たる保有者
(11)	信用補完	優先劣後構造	
	流動性補完	なし	
	1)	<p>オリジネーターのヒストリカルデータ及び本件のキャッシュフローから得られた数値に基づき、R&Iはデフォルトに関する標準シナリオを年次で見直す。なお、標準シナリオの水準は、R&Iがデフォルト率等の定義に基づき見積もった水準であり、貸倒率、延滞率その他の指標と直接的な相互比較は必ずしも適切ではなく目的としたものではない。</p> <p>「2. 格付方法」を格付対象の資産に適用する場合に、1頁の格付水準を満たすか否かをテストするデフォルト率のストレスシナリオは、一般的に標準シナリオの2.5倍の水準である。本プログラムのもとで購入される個別の手形債権プールはデフォルト率に関するストレステストにおいて、R&Iが想定している標準シナリオに比べて少なくとも3倍以上の水準まで耐えられる。</p>	
2)	<p>本信用格付は、資産証券化商品と判断される商品の信用状態に関する評価を対象としています。資産証券化商品については、「資産証券化商品の信用格付について」をご覧ください。 (資産証券化商品の信用格付について) https://www.r-i.co.jp/rating/about/sfrating.pdf</p>		
(12)	<p>本資産証券化商品に関して、狭義ABSとして情報を公表するよう新規格付時に働きかけを行いました。詳細については、「信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目」をご覧ください。 (信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目) https://www.r-i.co.jp/rating/about/appropriateness/appropriateness.pdf</p> <p>本資産証券化商品に関する情報は、ニュースリリースによる開示項目のほか、追加情報の公表はありません。</p>		

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

No. 2

1. 格付対象		
発行体	アオイ・ファンディング・コーポレーション	
名称	アオイ購入債権（シロキHD手形・電子記録債権）プログラム	
裏付資産	手形債権、電子記録債権	
発行金額 （通貨）	2,100,000,000円 （日本円）	
劣後比率	—	
発行日	—	
予定償還日	—	
最終償還日	—	
償還方法	—	
クーポンタイプ	—	
利率	—	
2. 格付方法		
2020年4月	第1章 総論	
2020年4月	第2章 各論 仕組みに関するリスク	
2020年4月	第3章 各論 裏付資産に関するリスク 第7節 手形債権	
2020年4月	第4章 各論 キャッシュフローリスク 第1節 金銭債権等に関する分析方法（大数アプローチ） 第2節 金銭債権等に関する分析方法（少数アプローチ）	
2020年4月	第5章 各論 モニタリング 第8節 プログラムに対する信用格付のモニタリング	
—	—	
上記の格付方法は以下のホームページに公開しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html		
3. 「格付提供方針等」3. に掲げる開示事項及び金融商品取引業等に関する内閣府令第306条第1項第9号に基づく開示事項		
各事項の説明は、本リリースの最終ページをご覧ください。		
(1)	商号又は名称	株式会社格付投資情報センター
	登録番号	金融庁長官（格付）第6号
	直近一年以内に講じられた監督上の措置	なし
(2)	2021年 6月28日	
(3)	主任格付アナリスト	安藤 洋人
	信用格付の付与について代表して責任を有する者	住田 直伸
(4)	1)	「格付付与方針」及び「格付符号と定義」をご覧ください。 （格付付与方針） https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html （格付符号と定義） https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html
	2)	「2. 格付方法」をご覧ください。
	信用格付の対象となる事項の概要 （ただし、重要なものに限る。）	「1. 格付対象」をご覧ください。
(5)	組成に関する事務の受託者	（株）静岡銀行
	原資産の主たる保有者	（株）シロキホールディングス
	発行者又は債務者	該当なし

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

No. 2

	損失の危険を移転する契約の締結者（第三者）	該当なし	
	特別目的法人	該当なし	
	特定融資枠契約の締結者	該当なし	
(6)	該当なし		
(7)	該当なし		
(8)	該当なし		
(9)	<p>R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。</p> <p>R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。</p>		
(10)	1)	2)	3)
	案件関連契約書	信用格付業者への表明保証等	組成に関する事務の受託者
	裏付資産に関するデータ・資料	信用格付業者への表明保証等	原資産の主たる保有者
	パフォーマンスに関するデータ	信用格付業者への表明保証等	原資産の主たる保有者
(11)	信用補完	優先劣後構造	
	流動性補完	なし	
	1)	<p>オリジネーターのヒストリカルデータ及び本件のキャッシュフローから得られた数値に基づき、R&Iはデフォルトに関する標準シナリオを年次で見直す。なお、標準シナリオの水準は、R&Iがデフォルト率等の定義に基づき見積もった水準であり、貸倒率、延滞率その他の指標と直接的な相互比較は必ずしも適切ではなく目的としたものではない。</p> <p>「2. 格付方法」を格付対象の資産に適用する場合に、1頁の格付水準を満たすか否かをテストするデフォルト率のストレスシナリオは、一般的に標準シナリオの2.5倍の水準である。本プログラムのもとで購入される個別の対象債権プールはデフォルト率に関するストレステストにおいて、R&Iが想定している標準シナリオに比べて少なくとも3倍以上の水準まで耐えられる。</p>	
2)	<p>本信用格付は、資産証券化商品と判断される商品の信用状態に関する評価を対象としています。資産証券化商品については、「資産証券化商品の信用格付について」をご覧ください。 (資産証券化商品の信用格付について) https://www.r-i.co.jp/rating/about/sfrating.pdf</p>		
(12)	<p>本資産証券化商品に関して、狭義ABSとして情報を公表するよう新規格付時に働きかけを行いました。詳細については、「信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目」をご覧ください。 (信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目) https://www.r-i.co.jp/rating/about/appropriateness/appropriateness.pdf</p> <p>本資産証券化商品に関する情報は、ニュースリリースによる開示項目のほか、追加情報の公表はありません。</p>		

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

No. 3

1. 格付対象

発行体	アオイ・ファンディング・コーポレーション
名称	アオイ購入債権（X社手形・電子記録債権）プログラム
裏付資産	手形債権、電子記録債権
発行金額 （通貨）	3,000,000,000円 （日本円）
劣後比率	—
発行日	—
予定償還日	—
最終償還日	—
償還方法	—
クーポンタイプ	—
利率	—

2. 格付方法

2020年4月	第1章 総論
2020年4月	第2章 各論 仕組みに関するリスク
2020年4月	第3章 各論 裏付資産に関するリスク 第7節 手形債権
2020年4月	第4章 各論 キャッシュフローリスク 第1節 金銭債権等に関する分析方法（大数アプローチ） 第2節 金銭債権等に関する分析方法（少数アプローチ）
2020年4月	第5章 各論 モニタリング 第8節 プログラムに対する信用格付のモニタリング
—	—

上記の格付方法は以下のホームページに公開しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

3. 「格付提供方針等」3. に掲げる開示事項及び金融商品取引業等に関する内閣府令第306条第1項第9号に基づく開示事項

各事項の説明は、本リリースの最終ページをご覧ください。

(1)	商号又は名称	株式会社格付投資情報センター
	登録番号	金融庁長官（格付）第6号
	直近一年以内に講じられた監督上の措置	なし
(2)	2021年 6月28日	
(3)	主任格付アナリスト	森安 圭介
	信用格付の付与について代表して責任を有する者	住田 直伸
(4)	1)	「格付付与方針」及び「格付符号と定義」をご覧ください。 （格付付与方針） https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html （格付符号と定義） https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html
	2)	「2. 格付方法」をご覧ください。
	信用格付の対象となる事項の概要 （ただし、重要なものに限る。）	「1. 格付対象」をご覧ください。
(5)	組成に関する事務の受託者	（株）静岡銀行
	原資産の主たる保有者	非公表（卸売業、売上高100億円以上、静岡県静岡市、公表することでオリジネーターの資金調達に大きな影響を与える恐れが

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

No. 3

		あるため。)	
	発行者又は債務者	該当なし	
	損失の危険を移転する契約の締結者（第三者）	該当なし	
	特別目的法人	該当なし	
	特定融資枠契約の締結者	該当なし	
(6)	該当なし		
(7)	該当なし		
(8)	該当なし		
(9)	<p>R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。</p> <p>R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。</p>		
(10)	1)	2)	3)
	案件関連契約書	信用格付業者への表明保証等	組成に関する事務の受託者
	裏付資産に関するデータ・資料	信用格付業者への表明保証等	原資産の主たる保有者
	パフォーマンスに関するデータ	信用格付業者への表明保証等	原資産の主たる保有者
(11)	信用補充	優先劣後構造	
	流動性補充	なし	
	1)	<p>オリジネーターのヒストリカルデータ及び本件のキャッシュフローから得られた数値に基づき、R&Iはデフォルトに関する標準シナリオを年次で見直す。なお、標準シナリオの水準は、R&Iがデフォルト率等の定義に基づき見積もった水準であり、貸倒率、延滞率その他の指標と直接的な相互比較は必ずしも適切ではなく目的としたものではない。</p> <p>「2. 格付方法」を格付対象の資産に適用する場合に、1頁の格付水準を満たすか否かをテストするデフォルト率のストレスシナリオは、一般的に標準シナリオの3倍の水準である。本プログラムのもとで購入される個別の対象債権プールはデフォルト率に関するストレステストにおいて、R&Iが想定している標準シナリオに比べて少なくとも3倍以上の水準まで耐えられる。</p>	
2)	<p>本信用格付は、資産証券化商品と判断される商品の信用状態に関する評価を対象としています。資産証券化商品については、「資産証券化商品の信用格付について」をご覧ください。 (資産証券化商品の信用格付について) https://www.r-i.co.jp/rating/about/sfrating.pdf</p>		
(12)	<p>本資産証券化商品に関して、狭義ABSとして情報を公表するよう新規格付時に働きかけを行いました。詳細については、「信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目」をご覧ください。 (信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目) https://www.r-i.co.jp/rating/about/appropriateness/appropriateness.pdf</p> <p>本資産証券化商品に関する情報は、ニュースリリースによる開示項目のほか、追加情報の公表は</p>		

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証いたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行者が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

No. 4

1. 格付対象

発行体	アオイ・ファンディング・コーポレーション
名称	アオイ購入債権（Y社売掛債権）プログラム
裏付資産	売掛債権
発行金額 （通貨）	2,000,000,000円 （日本円）
劣後比率	—
発行日	—
予定償還日	—
最終償還日	—
償還方法	—
クーポンタイプ	—
利率	—

2. 格付方法

2020年4月	第1章 総論
2020年4月	第2章 各論 仕組みに関するリスク
2020年4月	第3章 各論 裏付資産に関するリスク 第8節 売掛債権
2020年4月	第4章 各論 キャッシュフローリスク 第1節 金銭債権等に関する分析方法（大数アプローチ） 第7節 裏付資産及び仕組み関係者等の信用格付を基にする分析方法
2020年4月	第5章 各論 モニタリング 第8節 プログラムに対する信用格付のモニタリング
—	—

上記の格付方法は以下のホームページに公開しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

3. 「格付提供方針等」3. に掲げる開示事項及び金融商品取引業等に関する内閣府令第306条第1項第9号に基づく開示事項

各事項の説明は、本リリースの最終ページをご覧ください。

(1)	商号又は名称	株式会社格付投資情報センター
	登録番号	金融庁長官（格付）第6号
	直近一年以内に講じられた監督上の措置	なし
(2)	2021年 6月28日	
(3)	主任格付アナリスト	安藤 洋人
	信用格付の付与について代表して責任を有する者	住田 直伸
(4)	1)	「格付付与方針」及び「格付符号と定義」をご覧ください。 （格付付与方針） https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html （格付符号と定義） https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html
	2)	「2. 格付方法」をご覧ください。
	信用格付の対象となる事項の概要 （ただし、重要なものに限る。）	「1. 格付対象」をご覧ください。
(5)	組成に関する事務の受託者	（株）静岡銀行
	原資産の主たる保有者	該当なし
	発行者又は債務者	該当なし

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

No. 4

	損失の危険を移転する契約の締結者（第三者）	非公表（卸売業、売上高100億円以上、中部地方、公表することで資金調達に大きな影響を与える恐れがあるため。）	
	特別目的法人	該当なし	
	特定融資枠契約の締結者	該当なし	
(6)	該当なし		
(7)	該当なし		
(8)	該当なし		
(9)	<p>R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。</p> <p>R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。</p>		
(10)	1)	2)	3)
	案件関連契約書 裏付資産に関するデータ・資料	信用格付業者への表明保証等 信用格付業者への表明保証等	組成に関する事務の受託者 組成に関する事務の受託者
(11)		信用補完	優先劣後構造
		流動性補完	なし
	1)	<p>帝国データバンクの倒産データ及び本件のキャッシュフロー等から得られた数値に基づき、R&Iはデフォルトに関する標準シナリオを個別の債務引受の都度見直す。なお、標準シナリオの水準は、R&Iがデフォルト率等の定義に基づき見積もった水準であり、貸倒率、延滞率その他の指標と直接的な相互比較は必ずしも適切ではなく目的としたものではない。</p> <p>「2. 格付方法」を格付対象の資産に適用する場合に、1頁の格付水準を満たすか否かをテストするデフォルト率のストレスシナリオは、一般的に標準シナリオの2.5倍の水準である。本プログラムのもとで引受される個別の対象債権プールはデフォルト率に関するストレステストにおいて、R&Iが想定している標準シナリオに比べて少なくとも3倍以上の水準まで耐えられる。</p>	
2)	<p>本信用格付は、資産証券化商品と判断される商品の信用状態に関する評価を対象としています。資産証券化商品については、「資産証券化商品の信用格付について」をご覧ください。 (資産証券化商品の信用格付について) https://www.r-i.co.jp/rating/about/sfrating.pdf</p>		
(12)	<p>本資産証券化商品に関して、狭義ABSとして情報を公表するよう新規格付時に働きかけを行いました。詳細については、「信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目」をご覧ください。 (信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目) https://www.r-i.co.jp/rating/about/appropriateness/appropriateness.pdf</p> <p>本資産証券化商品に関する情報は、ニュースリリースによる開示項目のほか、追加情報の公表はありません。</p>		

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

「格付提供方針等」3. に掲げる開示事項及び金融商品取引業等に関する内閣府令第306条第1項第9号に基づく開示事項

(1)	信用格付業者の商号又は名称及び登録番号並びに当該信用格付業者に対して直近一年以内に講じられた監督上の措置の内容
(2)	信用格付を付与した年月日
(3)	信用格付の付与に係る過程に関与した主任格付アナリストの氏名及び信用格付の付与について信用格付業者を代表して責任を有する者の氏名
(4)	信用格付の付与に当たり採用した信用格付の対象となる事項の区分及びその細目に応じ記載された以下の1)、2)の事項。並びに信用格付の対象となる事項の概要 1) 信用状態に関する評価の前提となる事項及び信用状態に関する評価の結果を示す等級を定めるために用いる基準 2) 信用格付の付与に係る方法の概要（ただし、重要なものに限る。）
(5)	格付関係者の氏名又は名称。ただし、金融商品取引業等に関する内閣府令（平成十九年内閣府令第五十二号）第三百十三条第三項第三号にある、ただし書きの定めに従う。
(6)	信用格付の対象となる事項が資産証券化商品の信用状態に関する評価であり、かつ、過去に信用格付を付与した資産証券化商品の設計と著しく異なる場合には、その旨
(7)	信用格付の付与が格付関係者からの依頼によるものでない場合には、その旨及び信用格付の付与に係る過程において格付関係者から公表されていない情報（信用評価に重要な影響を及ぼすと認められるものに限る。）を入手したか否かの別
(8)	付与した信用格付について更新を行わない場合には、その旨及びその理由
(9)	付与した信用格付の前提、意義及び限界に関する当該信用格付の対象となる事項の区分に応じた説明（信用格付の変動の特性に関する説明及び信用格付の対象となる事項が信用状態の変化に関する情報が限定されている金融商品の信用状態に関する評価である場合における当該信用格付の限界に関する説明を含む。）
(10)	信用格付の付与に当たり利用した主要な情報に関する次に掲げる事項 1) 当該情報の概要 2) 当該情報の品質を確保するために講じられた措置の概要 3) 当該情報の提供者
(11)	付与した信用格付の対象となる事項が資産証券化商品の信用状態に関する評価に関するものである場合には、次に掲げる事項 1) 損失、キャッシュフロー及び感応度の分析に関する情報 2) 付与した信用格付の対象となる事項が資産証券化商品の信用状態に関する評価であることを明示するための記号又は数字その他の表示（当該表示に基づき投資者が当該信用格付の意義及び限界を理解するための説明を含む。）
(12)	信用格付の対象となる事項が資産証券化商品の信用状態に関する評価である場合、格付関係者に当該資産証券化商品の情報の公開を働きかけた内容及びその結果

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地 テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。